

事業計画の意義と内容 事業計画及びプログラム編成の視点と手順

東京家政大学 山本和人

はじめに

「社会教育事業」は市民と向き合う「最前線」に位置づけられる取り組みであり、社会教育事業とその計画についての理解をはかることは、社会教育計画を作成・策定する力の基礎となるものである。何を実行し、どのような変化をもたらそうとするかを理解していなければ、計画を立てることはできない。

I 事業計画の意義と内容

社会教育計画は、国・都道府県・市区町村における諸計画との関連の中で策定され、位置づけられる。したがって、事業計画も単独の計画ではなく、体系性を持った計画・取り組みでなければならない。(下記【参考】参照)

(1) 事業計画とは何か

(行政が行う) 社会教育の政策・施策、取組、活動を実施するための計画であり、同時に、「教育計画」としての「独自性」を持っている。

(2) 事業計画の必要性

事業は、思いつきやその時かぎりのものであってはならない。PDCA サイクルといわれる、限定された条件・資源を用いて、適切な目標設定と解決戦略に基づいて実行・評価し、望ましい結果をもたらす取り組みであり、その設計図として事業計画がある。

(3) 現状把握と課題の発見・設定

- ①地域の現状把握 (地域の現状と学習課題・地域課題の把握)
- ②過去・現在の諸計画とその成果の把握 (目標達成状況)
- ③各種調査結果や統計資料等の活用と分析
- ④市民ニーズの把握 (学習内容・学習方法等)
- ⑤日頃の問題関心と地域資源・学習資源の把握 (参考資料 3・4)

(4) 事業計画の体系と事業体系

- ①事業計画の体系

- 1) 年次（複数年度にわたる）計画
- 2) 単年度事業計画
- 3) 個別事業計画：計画体系の中から、個別事業を取り出した計画
- 4) 「(学習) プログラム」

②事業体系（あくまでも仮の例）：課題との対応

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 青少年 2) 子育て中の成人 3) 職業人 4) 高齢者 5) 学習施設経営 |
|---|

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1) まちづくり・地域再生・市町村合併 2) 子育て支援・家庭教育支援 3) 青少年の健全育成と地域参加促進 4) 学校・家庭・地域との連携協力 5) 高齢者の健康と生きがい 6) その他 |
|---|

(5) 事業計画に何を盛り込むか

- ①施策の柱の中で、どのような位置づけか
- ②事業の名称
- ③担当課・担当係
- ④事業目標の設定
- ⑤他の事業との関連性
- ⑥評価指標の設定
- ⑦（予算）

II 事業計画及びプログラム編成の視点と手順

(1) (個別) 実施事業計画

- ①（例）施設建設事業：図書館建設計画
- ②（例）団体連絡組織ネットワーク形成事業：社会教育関係団体連絡協議会
- ③（例）学習機会提供事業：現代的課題の学習機会提供
- ④（例）地域課題解決事業：元気な高齢者健康づくり

(2) (学習) プログラムとは

- ①事業計画の中での位置、目的：学習による課題解決：諸計画の一部である
- ②市民の知識・技術・態度の変容を目指す：④に関連
- ③地域資源を動員した地域課題解決：「学習形態」は工夫をすべきもの
- ④市民ニーズへの対応：問題解決とともに新たな「ニーズ」と「関心」を開発するもの

⑤社会的要請への対応

(3) (学習) プログラム編成の手順

①具体的学習プログラム例：

②プログラムの要素・フォーマット

- 1) 単発事業・事業展開計画（参考資料1）
- 2) 学習プログラム複数回事業案（参考資料2）

③プログラム立案の視点①まず何を考えるか

- 1) 対象者の違い
- 2) 学習時間・期間の違い
- 3) 学習内容の違い
- 4) 学習方法・形態の違い
- 5) 課題設定の違い

④プログラム立案の視点②立案・編成すべき項目

- 1) 立案・編成過程を知る
 - ・準備
 - ・学習目標の設定
 - ・学習活動の計画
 - ・学習活動の展開
 - ・評価
- 2) 教育・学習資源などの確認
 - ・環境
 - ・人材、組織・機関
 - ・施設・場所
 - ・教材・教具等
 - ・費用・経費、財政的裏づけ
 - ・PR・広報
- 3) 学習プログラムにおける提供の目的（課題の設定と問題意識）
 - ・人間的成長と発達
 - ・直面する問題の解決
 - ・職業機会や手がかり
 - ・社会教育・生涯学習の集団・団体や組織への支援
 - ・社会的課題の検討機会の提供

(4) 留意事項

- ①事業体系との関連を常に考える
- ②いかに地域資源・学習資源を取り込むか
- ③問題意識 ⇄ ニーズが分かりにくい ➡ こちから「仕掛ける」必要性
- ④市民との協力・共同を視野に

おわりに一日頃からプログラム分析を

以上

【参考】

社会教育計画とは、国や地方公共団体（地方自治体）が立案する、行政上の社会教育支援・振興のための計画で、行政目的を達成する上での課題を明確化し、一定期間の政策課題と優先順位を定め、その目標を実現するための手段を体系化したもの。

計画の体系：計画期間と対象範囲の問題

- ①地域総合計画（行政計画）と教育総合計画（教育計画）の関係と位置
- ②「教育計画」における最上位の、総合計画、全体計画、振興計画、地域計画（名称の混乱）
 - 教育総合計画
 - 総合社会教育計画
- ③計画実行期間の違いによる諸計画
 - ・長期計画：10年くらいのスパン → 5年程度に短くなってきている
 - ・中期計画：5～6年のスパン → 3年程度に短くなってきている
 - ・単年度計画：当該年度（1年間）
- ④対象範囲・分野の個別計画
 - ・事業計画
 - ・施設計画
 - ・指導者養成計画
 - ・財政計画

参考資料1：単発事業・学習展開案フォーマット

参考資料2：学習プログラム複数回用事業案フォーマット

参考資料3：問題設定・地域資源 発見ノート

参考資料4：地域資源・学習資源について